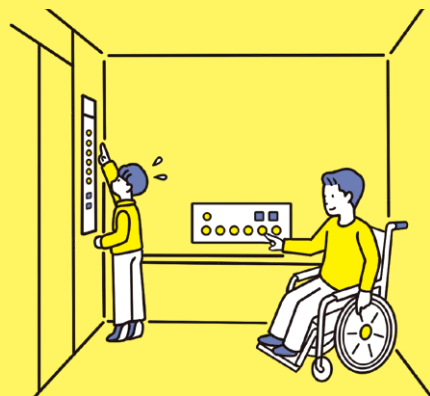
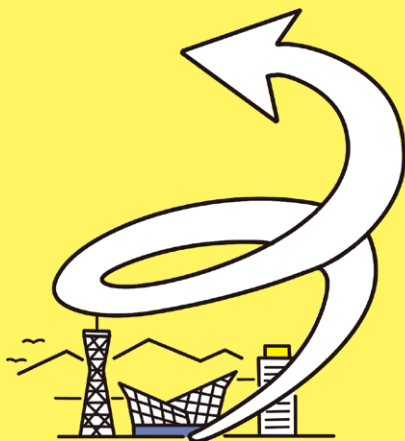


楽しく学ぼう！ こうべ ユニバーサル デザイン

みんなにやさしい
まちを
みんなでつくろう！！





1.ユニバーサルデザインって なんだろう？

1-1.どっちの自動販売機が使いやすいかな？ じ どうはんばいき



✎ どんなところが使いやすいと思ったかな？



ユニバーサルデザインとは、

**みんなが使いやすく、くらしやすいように
考えたり工夫をすること**です。

わたしたちの周りには、さまざまな人がくらしています。
背の高い人、低い人、車いすやベビーカーを使う人、
目が見えにくい人、耳が聞こえにくい人、外見ではわか
りにくい障がいがある人、言葉や文化がちがう人など、

一人ひとりにそれぞれの個性があります。

ユニバーサルデザインとは、さまざまな人がその個性
にかかわらず、使いやすく、くらしやすいように工夫を
することです。

1-2.ユニバーサルデザインをさがしてみよう

自動ドア



ポイント

いつもは気にならないけど、ケガをしたときや、荷物が多いときは助かるね。

横断歩道



ポイント

音が鳴って知らせてくれると、信号機の色が見えにくくてもわかりやすいね。

エレベーター



ポイント

低い位置にもエレベーターのボタンや手洗い場があると使いやすいね。

手洗い場



1-3.どうしてユニバーサルデザインが必要なのか？

まちには、さまざまな人がいます。わたしたちも困ることがあるかもしれません。

だからこそ、みんなが快適に使えるユニバーサルデザインが必要なのです。



ケガをしたときは、いつもどおりに動くことができません。

ベビーカーを押しているときは両手がふさがります。階段も使えません。



たくさんの荷物を持って移動するのは大変です。



2.こんなところにも… わたしたちのまわりにある

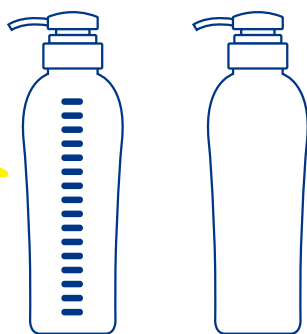
2-1.いつも使っている身のまわりの「もの」

わたしたちの身のまわりには、ユニバーサルデザインがたくさんあります。

どんなユニバーサルデザインがあるのかな？ みんなで探してみよう。

さわると中身がわかるシャンプーのボトル

でこぼこの
「きざみ」が
あります。



シャンプー

リンス

かみを洗うときに目を閉じていて、シャンプーやリンス（コンディショナー）をまちがって使ったことはありませんか？ シャンプーのボトルには「きざみ」があるので、ボトルをさわることによって簡単にちがいがわかります。

もともとは目が見えにくい人が使いやすいようにと考えられた「きざみ」ですが、みんなにわかりやすいですね。

ことばでも使えるタブレット



タブレットへ文字を入力することが大変だと思ったことはありませんか？ ことばで入力できるタブレットやリモコンは、細かい操作が苦手な人や、文字が読めない人でも使いやすいです。

気づいたかな？

ユニバーサルデザインの考え方を取り入れてつくられた商品のイラストです。

どんなところがユニバーサルデザインかな？ 考えてみよう。



ユニバーサルデザイン

2-2.みんながくらしている「まち」

みんなが安全・快適^{かいてき}にくらすことができるように、さまざまな工夫があります。
どんな工夫があるのかな？ みんなで探してみよう。

段差が少なくだれでも使いやすいノンステップバス



神戸市内を走っているバス

ノンステップバスはバス停に止まると、車体がバス停側^{かたむ}に傾きます。段差が少なくなるので乗り降りがしやすくなります。

また、バス車内の色は高い色や、目がみえにくい人にもわかりやすい色を使うなど、さまざまな工夫をしています。



文字がなくてもわかる案内



兵庫区役所のトイレ

文字のかわりに絵を使ってわかりやすく示したものを「ピクトグラム」といいます。たとえば左の写真は文字がなくてもトイレだとわかります。

まちには、このほかにもたくさんのピクトグラムがあります。

わかるかな？

右の4つのピクトグラムは、何を表しているかな？
ほかにはどんなピクトグラムがあるかな。





3. やさしい心で もっとくらしやすい神戸に

3-1. 一人ひとりを大切にしよう

ユニバーサルデザインは、ものづくりやまちづくりだけでなく、みんながやさしい心をもつことがとても大切です。
あなたができるユニバーサルデザインを考えてみよう！



チェック1

「おはよう」、「こんにちは」、
「ありがとう」…
元気にあいさつをします。



チェック2

歩道や点字ブロックの上に
自転車や荷物を置きません。



チェック3

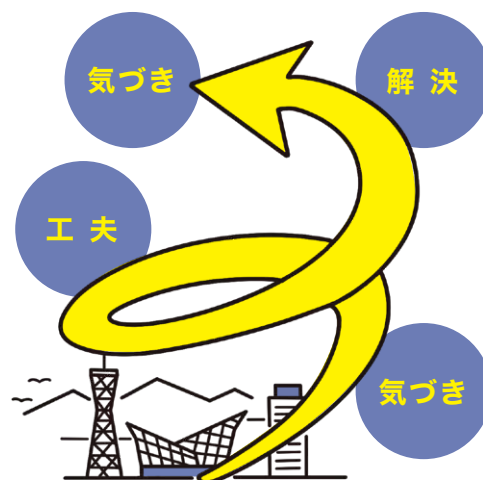
わたしたちのまわりには、
お手伝いが必要な人が
いることを知っておきます。



 ほかにどんなことができるかな？ 考えて書いてみよう。

3-2. ユニバーサルデザインが あふれる神戸をめざして

だれもが安心してくらすために、わたしたちみんなで考えましょう。
さまざまな人の意見を取り入れながら考え続けることが大切です。





4.ユニバーサルデザインができるまで

4-1.1980年代に考えられ 1990年代に日本でも広がりました

アメリカの大学で^{けんちく}建築などの研究をされていた、ロナルド・メイス教授が1980年代にユニバーサルデザインの考え方を広めました。教授は幼い頃の病気がもとで、電動車いすを使って生活をしていました。

当時のアメリカでは「バリアフリー」という考え方がさかんに使われており、そこに「最初からバリアがなければ」という考え方を取り入れたことが、ユニバーサルデザイン誕生のきっかけです。

4-2.バリアフリーからユニバーサルデザインへ

バリアフリー

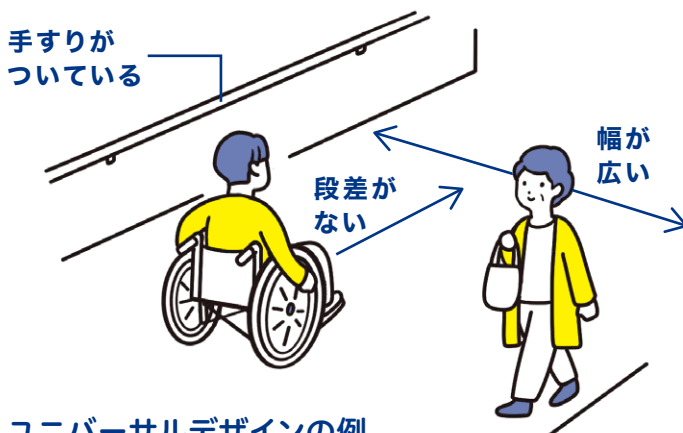
バリア (barrier) …障害物
フリー (free) …自由な、(道路・通路など) 自由に通行できる
例えば、スロープがあれば車いすやベビーカーを利用している人も通れるようになります。



バリアフリーの例

ユニバーサルデザイン

バリアをなくすのではなく、
「最初からみんなにやさしい
デザインを考えること」



ユニバーサルデザインの例



こうベユニバーサルデザインシンボルマークは、ユニバーサルデザインの「U」、「D」をモチーフに、すべての人にやさしいデザインを人々の笑顔で表現しました。青・緑・赤は海・山・ポートタワーを表し、神戸のまちにあふれる笑顔をイメージしています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

ユニバーサルデザイン7つの考え方

ユニバーサルデザインを広めたロナルド・メイス教授がまとめた“7原則”
その7原則を、簡単なことばで紹介します。

	原 則	こんな例があります
1	誰にでも公平に利用できること 誰でも利用できるように作られており、 使い方も簡単なこと。	階段以外にエスカレーターや エレベーターがあると、みん なが利用しやすくなります。 
2	使う上で自由度が高いこと 使う人の好みや 状況に合わせて使えること。	ベビーカーや車いすを利用 しているときでもテーブルを 利用できるベンチ。 
3	使い方が簡単ですぐわかること 使う人の経験や知識などに関わらず、 使い方がすぐわかること。	押しやすい形、何をすることが ひと目でわかるボタンは使い やすいです。 
4	必要な情報が すぐに理解できること 使う状況に関係なく、必要な情報が わかりやすく伝わるように作られていること。	絵を使うことによって、みんな が分かりやすいピクトグラム (絵文字)での案内。 
5	うっかりミスや危険に つながらないデザインであること うっかりした行動が、 危険や思わぬ結果につながらないこと。	線路への転落を防ぐホーム ドアがあるとみんなが安全に 利用できます。 
6	無理な姿勢をとることなく 少ない力でも楽に使用できること 効率よく、気持ちよく、疲れなく使えること。	低いところにもボタンやコイン 投入口があれば、車いすや背の 低い人も使いやすくなります。 
7	アクセスしやすいスペースと 大きさを確保すること どんな人でも、近づきやすく、 操作できるスペースがあること。	ゆったりとした広さがあれば、 車いすや子ども連れの人にも 使いやすいです。 

楽しく学ぼう！ こうべユニバーサルデザイン

2025年3月発行

発行元

公益財団法人こうべ市民福祉振興協会
〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番1号
TEL:078-743-8193 FAX:078-743-8180
E-mail:universal-d@shiawasenomura.org



北区にある総合福祉ゾーン「しあわせの村」では、市内の施設に先駆けて「しあわせの村ユニバーサルデザイン推進指針」をまとめるなど、UDへの取り組みを積極的に行なってきました。



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。